

# 知的障害教育部門 高等部 1 年 1 組 生活単元学習 学習指導案

日 時 令和 6 年 2 月 9 日 (金) 第 4 校時 13:30~14:20

場 所 高等部 1 年 1 組教室

授業者 安達 大輔 (T1) 寺田 理衣 (T2)

若月 真唯 (T3)

## 1 単元名「お世話になった方を招待して、春のお茶会をしよう」

## 2 単元設定の理由

### (1) 生徒の実態

本校知的障害教育部門高等部は今年度新設され、知的障害のある生徒 7 名 (男子 3 名、女子 4 名) で構成されている。7 名とも毎日元気に登校し、どの活動にも一生懸命に取り組んでいる。

生活単元学習では、4 月から茶道を題材とした学習を進めてきた。全員が主体的に活動に取り組み、茶道の練習後には抹茶を飲むことを楽しみにしており、茶道がとても好きである。埼玉大学茶道部の学生から様々な所作の指導を受けており、1 つずつ所作を会得して実践していくことが小さな成功体験の積み重ねとなり、さらに前向きに茶道に取り組むことができている。2 学期には、文化祭で外部の方を招いてお茶会を開催し、それぞれが亭主や半東、水屋などの役割を果たすことができた。

個々の生徒の実態は、以下のとおりである。

生徒名	生活全般での実態	単元に関わる実態
A (女子)	<ul style="list-style-type: none"><li>・時間を見て行動することができる。</li><li>・先の予定まで把握し、見通しをもって行動することができる。</li><li>・こだわりがあり、一度思い込むと気持ちを切り替えることが難しい場面もあるが、具体例を出して説明することで気持ちを切り替えて行動することができる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・抹茶を点てることが好きで、様々な所作をまねて一生懸命覚えようとする。</li><li>・書字が丁寧で、自分で簡単な文章を考えて書くことができる。</li><li>・分からないことをそのままにせず、質問することができる。</li><li>・自分の一方的な見方で物事を判断し、他者がどう捉えているかについて考えることに課題がある。</li></ul>
B (女子)	<ul style="list-style-type: none"><li>・相手の気持ちを考えて行動することができる。</li><li>・苦手な活動でも最後まで学習することができる。</li><li>・友達の様子の変化にすぐに気づき、優しい言葉掛けをすることができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・水屋長として全体の動きを見て、臨機応変に行動することができる。</li><li>・周囲の様子に気づき、お茶会でも他の生徒を支援することができる。</li><li>・コミュニケーション能力が高く、臨機応変に受け答えができる。</li><li>・手指の巧緻性に課題があり、お茶碗を安全に持ったり茶筌を振ったりすることが課題である。</li></ul>

<p>C (男子)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表面的な言葉をそのまま受け取ってしまう傾向があるが、分かりやすく説明することで理解できる。</li> <li>・リーダーとしての自覚をもってグループで行動することができる。</li> <li>・気持ちが不安定になった時には、仲のよい友達と話すことで切り替えができるようになってきた。</li> <li>・係の仕事など忘れずに最後まで丁寧に行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的にお茶を点てたり、歩き方や礼の練習をしたりし、態度でおもてなしの気持ちを表現しようとする事ができる。</li> <li>・次は半東をやりたいという気持ちがあり、積極的に茶道に取り組んでいる。</li> <li>・友達と協力して活動することが好きで、苦手意識があることでも友達と一緒に取り組むことで成功することがある。</li> <li>・学習したことや行動したことと、言葉が結び付かないことがある。</li> </ul>
<p>D (女子)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての活動に対して緊張が強くなることが多いが、事前に見通しをもつことで友達と一緒に活動に参加することができる。</li> <li>・学校生活に慣れると、時計を見て見通しをもって行動することができる。</li> <li>・係の仕事内容を覚え、毎日忘れずに行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に礼や歩き方などの所作の練習をしたり、お茶をきれいに点てようとして行動することができる。</li> <li>・やるべきことを覚えると、自信をもって行動することができる。</li> <li>・学習したことや調べたことを、簡単な言葉で表現することができる。</li> </ul>
<p>E (女子)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好奇心旺盛で様々なことに興味をもち、意欲的に取り組むことができる。</li> <li>・話すことに夢中になっている時には、落ち着いて行動するように促すことで気持ちの切り替えができる。</li> <li>・気持ちの良い挨拶や返事をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半東として長いセリフを覚えて、落ち着いて話すことできた。</li> <li>・パソコンのワープロソフトの基本的な入力ができる。</li> <li>・手指の巧緻性に課題があり、お茶を点てる際の力の加減が難しい。</li> <li>・学習したことや調べたことなどを話すことはできるが、文章に記すことが課題である。</li> </ul>
<p>F (男子)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定を明確にすることで、周囲の状況を見ながら集団行動ができる。</li> <li>・自分の興味のある活動に積極的に参加し、集中して取り組むことができる。</li> <li>・こだわりが強いが、正しい方法を説明することで、気持ちを落ち着かせることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し練習することでやるべきことを覚え、徐々に支援を減らしても自信をもって行動することができる。</li> <li>・学習したことや調べたことなどを理解しているが、適切な文章に記すことが課題である。</li> </ul>

<p>G (男子)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恥ずかしがり屋で、人前で話すことが苦手であったが、成功体験を積み重ねることで様々な活動に意欲的に取り組むことができるようになってきた。</li> <li>・人の気持ちを察することができ、気持ちの落ち着かない友達に優しい言葉かけをすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶道がとても好きで、茶道に大変積極的に取り組んでいる。</li> <li>・亭主として繰り返し人前でお点前を披露することで、人前でも積極的に活動することができるようになってきた。</li> <li>・友達と協力して制作活動をしたり、発表準備をしたりすることが得意である。</li> <li>・学習したことや調べたことなどを理解しているが、分かりやすく文章に記すことが課題である。</li> </ul>
-------------------	--	--

## (2) 単元観

本単元は、生徒の実態を踏まえ、茶道を学び、お茶会を開くことを通して、实际的・総合的に学習することによって、成功経験を豊富にし、自立や社会参加への意欲を育てることに重点を置き、設定した。

これまでの学習経験を生かしてお茶会を開くために、役割分担を行い、グループに分かれて準備を行う。文化祭のお茶会で使用した壁画やインターネットの情報などを参考に構想を練って壁画を制作する。また、お招きする方の予定を電話で確認し、招待状を作成する。

毎回、授業の最後に進捗状況等を発表することで、他者の発表を聞いて全員でお茶会の準備を進めていることを実感させていきたい。また、自分で発表することで、お茶会に対して自分の個性を生かして何ができるかを主体的に考えて意思をもって取り組むことができるようにしたい。

## (3) 指導観

本単元では、生徒が自分たちの力でお茶会の企画、事前の準備、当日の運営を行う。本時は、3つのグループに分かれて、担当ごとに活動する。

招待状作成グループは、国語の授業で行ってきた手紙の書き方や情報の授業でパソコンを使った文化祭のチラシ作成の経験をもとに、手紙の文章を考えたり案内状に合う写真を撮ったりし、ワープロソフトでレイアウトしていく。これまでのワークシートや実際に書いた手紙のコピーと完成したチラシを参考にして思い出しながら、できる限り自分たちで作っていくようにしたい。

アポイントメントグループは、国語の授業で校内の教員に電話をした経験を生かし、お世話になった方を電話で招待する。あらかじめ、伝えるべき内容を決めておき、想定されるやりとりを練習して、自信をもって連絡できるようにしたい。

壁画制作グループは、美術の授業で全体の配置や色合い等をデザインする一連の経験を生かし、制作を進めていく。必要な作業工程をグループで話し合い、各自が得意な分野で力を発揮して制作できるようにしていきたい。

どのグループも、自分たちで作っているという達成感とともに、他のグループの様子も見聞きすることで、全員で一緒の目標に向かって活動しているという一体感を味わうことができるようにしていきたいと考えている。

#### (4) 学校課題研究との関わり

本校研究主題は「12年間を見据えた系統的・継続的な指導の充実～個別最適な学びにおけるICTの具体的活用～」である。本校知的障害教育部門は高等部のみ設置されており、市内中学校及び特別支援学校中学部から様々な経歴の生徒が集まっている。そこで、茶道を通して目の前にある具体的な課題を一つずつ解決していく中で達成感を味わい自己肯定感を高めることで、社会的自立に向けた精神的な成長を期待して単元を設定した。

副題「個別最適な学びにおけるICTの具体的活用」との関わりとして、生徒は過去の学習経験を想起できれば、次の活動に生かすことができる。そこで、既習事項を写真や動画を使って振り返り主体的に学習に取り組めるようにしていきたい。また、年間を通してインターネットでの調べ学習や、ワードやエクセルを使った学習の振り返りを行ってきた。そこで、生徒一人ひとりがICTを自分に合った方法で利用することによって学習に対する意欲を高め、達成感や自己肯定感の向上につなげたい。

### 3 単元の指導計画

#### (1) 単元の指導目標

- お茶会の企画・運営の過程において、自己の役割を果たすことができる。 (知識及び技能)
- 学習経験や得意なことを生かして、お茶会をよりよいものにするために工夫することができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- お茶会の仕事内容や準備の進捗状況を認識し、主体的に活動に取り組むことができる。 (学びに向かう力、人間性等)

#### (2) 単元の個人目標

生徒名	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
A (女子)	お茶会の目的を理解して求められていることを考え、これまで学習してきたことや得意なことを生かして準備や練習に取り組むことができる。	学習経験や得意なことを生かして、お茶会をよりよいものにするために、自分のできることに取り組むことができる。	お茶会の仕事内容や準備の進捗状況を認識し、主体的に活動に取り組むことができる。
B (女子)	お茶会の目的を理解してよりよいものにしていくために、これまで学習してきたことや得意なことを生かして準備や練習に取り組むことができる。	学習経験や得意なことを生かして、お茶会をよりよいものにするために自ら考えて行動することができる。	お茶会の仕事内容や準備の進捗状況を認識し、お茶会本番の様子を想像しながら主体的に活動に取り組むことができる。

C (男子)	お茶会の目的を理解してよりよいものにしていくために、これまで学習してきたことや得意なこと等の自信をもって取り組める仕事に主体的に取り組むことができる。	学習経験や得意なことを生かして、お茶会をよりよいものにするために、友達と協力することができる。	お茶会の仕事内容や準備の進捗状況を認識し、本番に向けた期待感をもって主体的に活動に取り組むことができる。
D (女子)	お茶会の目的を理解してよりよいものにしていくために、これまで学習してきたことや得意なことを生かして準備や練習に取り組むことができる。	学習経験や得意なことを生かして、お茶会をよりよいものにするために、自分のできることに取り組むことができる。	お茶会の仕事内容や準備の進捗状況を認識し、主体的に活動に取り組むことができる。
E (女子)	お茶会の目的を理解してよりよいものにしていくために、これまで学習してきたことや得意なことを生かして主体的に準備や練習に取り組むことができる。	学習経験や得意なことを生かして、お茶会をよりよいものにするために、友達と協力することができる。	お茶会の仕事内容や準備の進捗状況を認識し、主体的に活動に取り組むことができる。
F (男子)	お茶会をこれまでよりよいものにしていくために、学習してきたことや得意なことを生かして準備や練習に取り組むことができる。	学習経験や得意なことを生かして、お茶会をよりよいものにするために、自分のできることに取り組むことができる。	お茶会の自分の役割や準備の進捗状況を認識し、主体的に活動に取り組むことができる。
G (男子)	お茶会の目的を理解してよりよいものにしていくために、これまで学習してきたことや得意なことを生かして主体的に準備や練習に取り組むことができる。	学習経験や得意なことを生かして、お茶会をよりよいものにするために、学級のリーダーとして友達と協力することができる。	お茶会の仕事内容や準備の進捗状況を認識し、本番を想像しながら期待感をもって主体的に活動に取り組むことができる。

4 指導計画（本時 18 / 35時間） ※各次は並行して行う部分もあるため、昇順とは限らない。

次	時数	主な学習内容	取り扱う教科等及び内容
1	2時間	<p>お茶会を企画しよう。</p> <p>○お茶会の目的を話し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間でどのような方々にお世話になったか考えよう。</li> <li>・お茶会に必要な準備を考えよう。</li> <li>・お茶会本番の役割分担をしよう。</li> </ul>	<p>○高等学校特別活動 ホームルーム (1)</p> <p>日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成</p>
2	12時間	<p>茶道を深めよう。</p> <p>○茶道に関する和歌を味わおう。(6時間)</p> <p>○茶道に関する書をしたためよう。(2時間)</p> <p>○能楽について知ろう。(2時間)</p> <p>○呈茶会に飾る季節の花を知ろう。(2時間)</p>	<p>○中学部国語2段階ウ(ア)</p> <p>易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。</p> <p>○中学部美術1段階A表現ア(イ)</p> <p>材料や用具に扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すこと。</p> <p>○中学部音楽1段階B鑑賞ア(ア)</p> <p>鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聞くこと。</p> <p>○中学部理科2段階A生命イ(ア)④</p> <p>植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。</p>
3	4時間	<p>おいしいお茶とお菓子を準備しよう。</p> <p>○おいしい抹茶になるお湯の温度と抹茶の量を計ろう。</p> <p>○抹茶に合うお菓子を選んで準備しよう。</p>	<p>○中学部1段階数学</p> <p>Dデータの活用ア(イ)⑦</p> <p>身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、簡単なグラフや表を用いながら読み取ったり、考察したりすること。</p> <p>○中学部1段階職業・家庭</p> <p>C消費生活・環境ア(ア)</p> <p>生活に必要なものの選び方、買い方、計画的な使い方などについて知り、実践しようとする事。</p>

4	1 2時間	<p>お茶会の準備をしよう（1）</p> <p>①準備の役割分担をしよう。</p> <p>②準備を進めよう。【本時】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・招待状を作成しよう。</li> <li>・電話でお茶会に招待することを伝えよう。</li> <li>・箏を演奏しよう。</li> <li>・壁画を制作しよう。</li> </ul> <p>③準備を進めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表原稿を作成して練習しよう。</li> <li>・お礼のお土産を作ろう。</li> </ul> <p style="text-align: right;">（8時間）</p>	<p>○高等学校特別活動 ホームルーム（1）          日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成</p> <p>○特別の教科道徳          B主として人とのかかわりに関すること（思いやり、感謝、礼儀）</p> <p>○高等部1段階職業イ（ア）の          職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付けること。</p> <p>○高等部1段階情報Bイ（イ）          コミュニケーションの目的に合わせて、必要な情報が伝わるような情報デザインを考えること。</p>
		<p>お茶会の準備をしよう（2）</p> <p>○お客様に対する礼儀作法を学ぼう。</p> <p style="text-align: right;">（2時間）</p>	
		<p>お茶会の準備をしよう（3）</p> <p>○抹茶の飲み方や作法のカードを作成しよう。（2時間）</p>	
5	8時間	<p>○お茶会の練習をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の役割を意識してお茶会の練習に取り組もう。</li> </ul>	<p>○高等学校特別活動 ホームルーム（1）          日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成</p> <p>○特別の教科道徳          B主として人とのかかわりに関すること（思いやり、感謝、礼儀）</p> <p>※交流及び共同学習          地域の人々などと活動を共にする機会を積極的に設けること。</p>
6	2時間	<p>○会場設営をしよう。</p>	
7	1時間	<p>○お茶会を開こう。</p>	
8	1時間	<p>○学習を振り返ろう</p>	

## 5 本時の学習

### （1）本時の共通目標

- 仕事内容や進捗状況を認識し、お世話になった方に感謝の気持ちをもってお茶会の準備に取り組むことができる。（思考力、判断力、表現力等）

(2) 本時の個人目標

生徒名	思考力、判断力、表現力等
A (女子)	・お茶会の準備の仕事内容や進捗状況を認識し、どのような場面でお世話になったかを考えながら招待状を作成できる。
B (女子)	・お茶会の準備の仕事内容や進捗状況を認識し、お世話になった方に感謝の気持ちを持ち、礼儀に注意しながら電話連絡をすることができる。
C (男子)	・お茶会の準備の役割を理解し、礼儀に注意しながら電話連絡をすることができる。
D (女子)	・お茶会の準備の役割を理解し、来場者に喜んでもらうことをイメージしながら壁画制作に取り組むことができる。
E (女子)	・お茶会の準備の仕事内容や進捗状況を認識し、どのような場面でお世話になったか思い出しながら招待状を作成できる。
F (男子)	・お茶会の準備の役割を理解し、お世話になった人のことを思い出しながら友達と協力して活動に取り組むことができる。
G (男子)	・お茶会の準備の役割を理解し、来場者に喜んでもらうことをイメージしながらリーダーとして活動に取り組むことができる。

## 6 本時の評価

### (1) 本時の共通目標に係る評価の観点

○仕事内容や進捗状況を認識し、お世話になった方に感謝の気持ちをもってそれぞれのグループでお茶会の準備に取り組むことができたか。(思考・判断・表現)

### (2) 本時の個人目標に係る評価の観点

生徒名	思考・判断・表現
A (女子)	・お茶会の準備の仕事内容や進捗状況を認識し、どのような場面でお世話になったかを考えながら招待状を作成できたか。
B (女子)	・お茶会の準備の仕事内容や進捗状況を認識し、お世話になった方に感謝の気持ちを持ち、礼儀に注意しながら電話連絡をすることができたか。
C (男子)	・お茶会の準備の役割を理解し、礼儀に注意しながら電話連絡をすることができたか。
D (女子)	・お茶会の準備の役割を理解し、来場者に喜んでもらうことをイメージしながら壁画制作に取り組むことができたか。
E (女子)	・お茶会の準備の仕事内容や進捗状況を認識し、どのような場面でお世話になったか思い出しながら招待状を作成できたか。
F (男子)	・お茶会の準備の役割を理解し、お世話になった人のことを思い出しながら友達と協力して活動に取り組むことができたか。
G (男子)	・お茶会の準備の役割を理解し、来場者に喜んでもらうことをイメージしながらリーダーとして活動に取り組むことができたか。

(3) 本時の展開

時間	学習活動	○個別の支援（手立て） ・指導上の留意点 ◇評価の観点 (T1~T3) …T1~T3の動き			
導入 8分	1 あいさつをする	・日直は授業の始まりを意識して号令をかける。			
	2 単元の内容を確認する	・単元全体の流れと目的を表で示し、本時の位置付けを明確にするとともに、お茶会での役割分担を再度確認し、お茶会への意欲を引き出す。			
	3 本時の学習内容を確認する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の進め方と目標「お世話になった方に感謝の気持ちを持ち、協力して呈茶会の準備をしよう」を確認する。</li> <li>・本時の活動内容の全体像を大まかに確認するとともに、活動の動機付けを行い、来場者に喜んでもらえるお茶会にするための準備をするように伝える。</li> <li>・前回到引き続き、本時はどのような内容に取り組むことになるのか確認していく。必要に応じて、グループをこえて確認しあったり相談したりするように伝える。</li> <li>・招待状グループ：プリントアウトされた招待状を見ながら前回までの進捗状況を確認する。</li> <li>・電話連絡グループ：前回までに参加の確認ができた方を伝える。本時に電話をする方を確認する。</li> <li>・壁画グループ：前回までの進捗状況を、制作物を見ながら確認する。</li> </ul>			
展開① 35分	4 活動場所に移動し、グループごとに活動する	招待状グループ A・E (T3)		電話連絡グループ B・C (T2)	壁画グループ D・F・G (T1)
		<p><b>A</b></p> <p>(1)あいさつ文を作成する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話連絡グループから参加者リストを受け取る。</li> <li>・出席していただく方にお世話になった場面を思い出しながら、関係性に応じた簡単なあいさつ文を作成する。</li> </ul> <p>○1文程度の簡潔な文になるように声掛けをする。国語で学習した</p> <p>○5W1H作成表を参考にしながら、文章について指導する。</p> <p>◇来場者へ感謝の気持ちが伝わるように招待状を作ることができたか。</p>	<p><b>E</b></p> <p>(1)Aが作成したあいさつ文をパソコンの決められた枠に正しく入力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの場面でお世話になったのかを思い出しながら相手の名前やあいさつ文を入力する。</li> </ul> <p>○人名を正確に打ち込めているか確認する。</p> <p>○どの場面でお世話になったか、考えることができるように声掛けをする。</p> <p>○漢字や句読点が適切か確認して指導する。</p> <p>◇来場者に感謝の気持ちが伝わるように招待状を作ることができたか。</p>	<p><b>B</b></p> <p>(1)本時の活動内容を教員と確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日連絡する相手と順番を確認する。</li> <li>・相手に応じたマニュアルを確認しあう。</li> <li>・電話の礼儀やマナーと注意事項を確認する。</li> <li>・必要に応じて練習する。</li> </ul> <p>(2)電話をかける(1人目)</p> <p>○相手の名前と電話番号を声に出して確認した後、手順に従って電話をかける。</p> <p><b>C</b></p> <p>(2)Bの電話を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①名前と電話番号(名簿を参照)、②電話のかけ方の順序が正しいか確認する。</li> </ul> <p>※以下BとCを入れ替えながら、4名に電話をかける。</p> <p>○相談を受けた場合は、メモに必要事項を書いて渡す。</p> <p>(3)電話の内容を記録する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メモを見て互いに確認し合いパソコンに情報を入力する。</li> </ul> <p>◇活動内容を把握し、自分の役割を果たそうとしていたか。</p>	<p>(1)今日の課題を教員と確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員と一緒にそれぞれの課題を確認し、何をするのか理解したうえで活動に取り組む。</li> <li>・来場者に感謝の気持ちをもって、喜んでもらえるように意識しながら制作に取り組む。</li> </ul> <p><b>D・F</b></p> <p>(2)千切り絵アートを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・のりの扱い方に注意して紙を貼る。</li> <li>○良い例、悪い例のモデルを提示する。</li> <li>○手を拭くタオル等を準備する。</li> </ul> <p>◇来場者のことを意識して丁寧に制作に取り組むことができたか。</p> <p><b>G</b></p> <p>(2)歯ブラシアートを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指示書を見て、着色する。</li> <li>・分からない時や困ったときは相談する。</li> <li>○困っているときに教師からの声かけをせず、自分から声をかけられるように支援する。</li> </ul> <p>◇来場者のことを意識して丁寧に制作に取り組むことができたか。</p>
		<p>(2)進捗状況の発表の準備をする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○できているところまでの内容を簡潔にまとめ、発表できるように支援する。</li> </ul> <p>(3)発表に必要なもの以外を片付ける。</p>	<p>(4)進捗状況の発表ができるようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○誰にどのような話をしたか、相手と約束ができたか等について簡潔に内容を発表できるように支援する。</li> </ul> <p>(5)発表に必要なもの以外を片付ける</p>	<p>(5)進捗状況の発表ができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○用いた技法等について簡潔に内容を発表できるように支援する。</li> </ul> <p>(6)発表に必要なもの以外を片付ける</p>	
展開② 5分	5 本時の進捗状況を発表し、振り返りを行う。	<p>招待状グループ：本日完成した招待状の枚数を発表する。</p> <p>電話連絡グループ：電話の相手と参加状況を発表する。</p> <p>壁画グループ：具体物を見せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・T1、T2、T3がそれぞれの活動の様子を伝えながら、頑張った点や良い点、次回の目標等を簡潔にコメントする。</li> </ul> <p>◇本時の目標「お世話になった方に感謝の気持ちを持ち、協力して呈茶会の準備をしよう」が達成できたか。</p>			
まとめ 2分	6 次時の予告をする	・単元の目的を再度確認し、次回への意識付けを行う。			
	7 あいさつをする	・日直が授業の終わりを意識して号令をかける。			

